

第 6 5 期

計 算 書 類

〔 自 2022年4月 1日
至 2023年3月31日 〕

株式会社 NSロジ東日本

目 次

計 算 書 類

貸借対照表	・・・	1
損益計算書	・・・	2
株主資本等変動計算書	・・・	3

個 別 注 記 表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記	・・・	4
II. 収益認識に関する注記	・・・	5
III. 株主資本等変動計算書に関する注記	・・・	5

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	千円	(負債の部)	千円
流動資産	1,058,735	流動負債	733,737
受取手形	37,600	営業未払金	425,153
営業未収金	683,059	未払金	143,048
前払費用	5,896	未払費用	164,232
未収金	11,420	未払法人税等	1,302
その他	320,759		
固定資産	633,423	固定負債	142,120
有形固定資産	525,912	退職給付引当金	142,120
建物	14,885	負債合計	875,857
構築物	57,209		
機械及び装置	0	(純資産の部)	
船舶	19	株主資本	816,301
車両及び運搬具	271,598	資本金	30,000
工具器具及び備品	16,082	資本剰余金	181,797
土地	147,372	資本準備金	5,066
建設仮勘定	18,743	その他資本剰余金	176,731
投資その他の資産	107,511	利益剰余金	604,503
投資有価証券	100	利益準備金	4,597
出資金	405	その他利益剰余金	599,906
長期貸付金	214	特別積立金	180,811
長期前払費用	1,445	繰越利益剰余金	419,094
繰延税金資産	89,616		
差入保証金	15,729		
資産合計	1,692,159	純資産合計	816,301
		負債及び純資産合計	1,692,159

(注)記載金額は千円未満の端数を切捨により表示しております。

損 益 計 算 書

〔 自 2022年4月 1日 〕
〔 至 2023年3月31日 〕

科 目	金 額	
	千円	千円
売 上 高		6,969,421
売 上 原 価		6,826,475
売 上 総 利 益		142,945
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		139,327
営 業 利 益		3,618
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	190	
固 定 資 産 売 却 益	6,254	
そ の 他	4,744	11,189
営 業 外 費 用		
固 定 資 産 除 却 損	14	
そ の 他	1,806	1,820
経 常 利 益		12,986
税 引 前 当 期 純 利 益		12,986
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	16,277	
法 人 税 等 調 整 額	△	4,586
当 期 純 利 益		1,295

(注)記載金額は千円未満の端数を切捨により表示しております。

株主資本等変動計算書

(自 2022年4月 1日)
(至 2023年3月31日)

	株 主 資 本									純資産 合計
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金			株 主 資本 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利 益 準備金	そ の 他 利 益 剰 余 金				
					特 別 積立金	繰 越 利 益 剰余金				
当期首残高	千円 30,000	千円 5,066	千円 176,731	千円 181,797	千円 4,597	千円 180,811	千円 432,297	千円 617,706	千円 829,503	千円 829,503
当期変動額										
剰余金の配当				-			△ 14,497	△ 14,497	△ 14,497	△ 14,497
当期純利益				-			1,295	1,295	1,295	1,295
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	△ 13,202	△ 13,202	△ 13,202	△ 13,202
当期末残高	30,000	5,066	176,731	181,797	4,597	180,811	419,094	604,503	816,301	816,301

(注)記載金額は千円未満の端数を切捨により表示しております。

【個別注記表】

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- | | |
|-------------------|--|
| ① 子会社株式及び関連会社株式 | 移動平均法による原価法 |
| ② その他有価証券 | |
| ・ 市場価格のない株式等以外のもの | 期末日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) |
| ・ 市場価格のない株式等 | 移動平均法による原価法 |

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- | | |
|-------|---|
| ① 貯蔵品 | 移動平均法による原価法
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定) |
|-------|---|

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。
但し、10万円以上20万円未満のものについては、3年間で均等償却しております。

(2) 無形固定資産 ソフトウェア

自社利用可能期間(5年間)に基づく定額法を採用しております。

(3) 長期前払費用

均等償却しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

- | | |
|------------------|---|
| ① 一般債権 | 債権の貸倒による損失に備えて、貸倒実績率法により算定し、計上しております。 |
| ② 貸倒懸念債権及び破産更生債権 | 債権の貸倒による損失に備えて、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 |

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

4. 収益の計上基準

収益は、次の5つのステップを適用し認識される。

- ステップ1：顧客との契約を識別する。
- ステップ2：契約における履行義務を識別する。
- ステップ3：取引価格を算定する。
- ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。
- ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

当社の売上収益は主として鉄鋼製品の陸上輸送等の物流サービスによるものであります。

- (1) 一時点で充足される履行義務 主として鉄鋼製品の陸上輸送等の物流については、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で収益を認識しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- (1) グループ通算制度の適用 当社は、当事業年度の期首より連結納税制度から日本製鉄株式会社を通算親法人とするグループ通算制度に移行しております。これに伴い、法人税および地方法人税並びに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取り扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)にもとづき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

II. 収益認識に関する注記

(収益認識基準に関する会計基準の適用)

「重要な会計方針に係る事項」の「収益の計上基準」に記載のとおりであります。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末における発行済株式の総数

普通株式

58,223株

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2022年6月29日 定時株主総会	普通 株式	14,497	249	2022年3月31日	2022年6月30日